情報ネットワーク時代を生き抜くために

神奈川県資料室研究会

情報・知財部門のスキルアップを

神奈川県資料室研究会（神資研）は、主として神奈川県内にある企業、大学、研究所、公共機関などの情報部門資料室、図書館及び知財担当部門等で組織され、その運営向上について、お互いに連絡や研修、研究を行っている団体です。

https://ncsaas.cu-mo.jp/shinshiken/htdocs/

神奈川県資料室研究会とは

神奈川県資料室研究会、略して神資研（しんしけん）は1961年に設立された京浜地区資料室運営研究会を母体にし、1963年に発足しました。
2021年には、60周年を迎えました。

神資研は、神奈川県、近隣都県内の企業、大学、公共機関の資料室、図書館、情報部門によって構成されており、月例会などの活動を中心に、資料室等の運営向上とスキルアップに努めています。
近年はコロナウイルス感染症の影響により、オンラインで例会を行っており、リアル開催では参加が難しかった会員も、多く参加することが出来るようになりました。
講演会は「泥臭さ」と「半歩先を行く」というモットーをもとに、著作権や電子ジャーナルなど、会員からの要望の高いテーマについて取り上げています。

2022年11月現在の会員数は、正会員73　賛助会員11　個人会員18です。

神資研のあゆみ

年（西暦）	内　　容
S36（1961）	第1回京浜地区資料室運営研究会発足 第1回研究会（月例研究会の始まり）
S38（1963）	神奈川県資料室研究会と改称、設立総会を開催（参加者32名） 会則を定め、役員を選出（32会員）
S42（1967）	神資研年報発刊
S44（1969）	科学技術セミナー(福岡市)にて情報管理活動研究団体として神資研紹介される JICST全国研究集会にて「神資研の活動状況」を発表
S45（1970）	神資研ニュース発刊
S46（1971）	10周年記念行事式典を開催
S48（1973）	S47年度「科学技術白書」に神資研が紹介される
S51（1976）	レファレンスサービス事例集を刊行
S52（1977）	会員数100機関に達する
S53（1978）	神資研に英語名決まる（ Kanagawa Association of Special Libraries and Information Bureaus）
S56（1981）	第6回日本ドクメンテーション協会賞の優秀ドクメンテーション機関賞受賞 20周年記念式典を開催

S57（1982）～H16（2004）

年（西暦）	内　　容
S57（1982）	神資研のシンボルマークが決定
S59（1984）	「オンライン検索ノート」を刊行
S61（1986）	神資研創立25周年記念特別講演会を開催
S62（1987）	神資研ニュース第200号刊行（別冊総目次101～200号作成）
H1 （1989）	「神資研ネット利用案内」を刊行
H3 （1991）	神資研30周年記念行事を開催
H5 （1993）	神資研ニュース連載「ビジネスデータベースの検索マニュアル」(津田義臣著)を編集刊行
H8 （1996）	神資研ニュース第300号を発行
H9 （1997）	レファレンス分科会ぱーとつー活動報告「ぱーとツール－レファレンスで困ったときの紙だのみ集」を刊行
H11（1999）	神資研メーリングリストを開設
H13（2001）	神資研ホームページ開設　神資研40周年記念行事を開催
H14（2002）	「デポジット・ライブラリー」構想をとりまとめる
H16（2004）	「デポジット・ライブラリー」を開設、利用開始 第6回図書館総合展でブースを初出展、フォーラムを主催

H20（2008）～R4（2022）

年（西暦）	内　　容
H20（2008）	県立の図書館資料の神資研会員機関向け貸出を制度化
H22（2010）	神資研事務局としての活動が評価され、県立川崎図書館が第12回図書館サポートフォーラム賞受賞
H23（2011）	神資研50周年記念行事を開催
H26（2014）	図書館を支援する団体として、神資研が第100回全国図書館大会で日本図書館協会から感謝状を贈られる
H27（2015）	「デポジット・ライブラリー」コレクション評価まとまる
H29（2017）	50年以上の持続可能な活動とその実績に基づいた官民連携的な取り組みの成果が評価され、神資研がLibrary of the Yearのライブラリアンシップ賞受賞
H30（2018）	事務局を担当する県立川崎図書館がKSPへ移転 県立川崎図書館を対象とした調査研究に対し、研究助成募集開始
R2　（2020）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため例会を中止 Zoomを導入し、初のオンライン例会を開催
R3　（2021）	神資研60周年記念式典、特別講演会をオンラインで開催
R4　（2022）	図書館総合展ONLINE_plusに初参加

神資研会員になるとできること

定例会の参加

講演会、見学会等の
例会に参加できます。
現在は、見学会を
行っていませんが、
主にオンラインでの
例会を定期的に開催
しています。

図書の機関貸出

県立の図書館で所蔵
している図書資料を
郵送で機関貸出する
ことができます。
（正会員のみ）

年報・機関誌の配布

例会の記録等を掲載
する機関誌「神資研
ニュース」や年報
「神資研」を無料で
読むことができます。

などのサービスが受けられます

神奈川県資料室研究会と県立川崎図書館との共同事業

科学技術系外国語雑誌 デポジット・ライブラリーについて

デポジット・ライブラリーとは

神資研の会員機関より、保管が困難になった学術洋雑誌等を県立川崎図書館に寄贈していただき、会員機関および県民に広く活用していただく制度のことです。

2004年４月よりデポジット・ライブラリーの運用が開始され、県立川崎図書館と宅配便で資料の運搬を行っています。

場所は旧県立野庭高校、現神奈川県教育委員会文化遺産課収蔵センターです。

※ デポジット・ライブラリー所蔵雑誌はCiNii Booksでも検索ができます。

近年の例会一覧（2020年度）

開催日	タイトル・講師
10月16日	**デジタル文献の利活用と著作権コンプライアンス** 冨井 俊行 氏（Rights Direct Japan株式会社　マネージングディレクター） 石島　寿道 氏（一般社団法人学術著作権協会）
11月20日	**コロナ禍とカビ対策** 高鳥 浩介 氏（NPO法人 カビ相談センター代表） ナカバヤシ㈱ 図書館ソリューション営業部殿
12月18日	**図書室・資料室のコロナ対策**（グループディスカッション）
1月22日	**DX時代における企業ライブラリーのリノベーション** **～富士通株式会社殿　F3rd Kawasaki Library（愛称：EGG）の事例～** 大森 圭子氏 （富士通株式会社　法務・知財・内部統制推進本部知財インテリジェンスサービス統括部）
2月25日	**ディスカバリーとArticle Galaxy** 井手 孝次郎氏（ユサコ株式会社　アカデミア事業部　プロダクトマネージメント） 和泉 孝弥氏　（ユサコ株式会社　アカデミア事業部　プロダクトマネージメント）

近年の例会一覧（2021年度）

開催日	タイトル・講師
7月16日	**オンラインフリートーク**
10月29日	60周年記念特別講演会 **近年の著作権改正の状況** 福井 健策氏（骨董通り法律事務所 For the Arts 代表パートナー）
1月21日	**神奈川大学図書館の今** **　～みなとみらいキャンパスの新サービスを中心に～** 小池 孝昌 氏（神奈川大学　みなとみらい図書課　課長補佐）
2月28日	**ライブラリーのあり方再考** **　～「場」としてのウィズコロナ対応～** 平田 エマ氏 （公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部次長 兼 BIZCOLI館長）
3月4日	**電子書籍をめぐる課題と事例－KinoDenを題材に－** 西田 和之氏（株式会社 紀伊國屋書店　デジタル情報営業部　部長）

2022年度　例会一覧

開催日	タイトル・講師
4月22日	**電子書籍をめぐる課題と事例－Mel:Maruzen eBook Libraryを題材に－** 川口 達也 氏（丸善雄松堂　学術情報ソリューション事業部　企画開発統括部Maruzen eBook Library担当主任）
5月20日	**「モノだけではなく、価値をお預かりする」** **－寺田倉庫の取り組みと書籍保管による新たな余白創出の事例について－** 上殿 信 氏（寺田倉庫株式会社 ドキュメントソリューショングループマーケティングチーム ディレクター）
6月17日	**研究を支援する最適な学術文献ワークフローソリューション** 麿 尚久 氏　（株式会社サンメディアArticle Direct & NPA イニシアチブグループ マネージャー） 古賀 めぐみ 氏（株式会社サンメディアArticle Direct & NPA イニシアチブグループ リーダー） 堀 恭子 氏　（株式会社サンメディアCCS権利処理推進室 マネージャー）
7月15日	**オープンアクセスの現状とSpringer Natureの活動** 浦上 裕光 氏　（アカデミック・エンゲージメント・ディレクター、シュプリンガー・ネイチャー）
9月16日	**文献複写の電子化著作権処理（電子入手・電子保存）について** 河本 茉莉那 氏（メデックス・ジャパン株式会社ドキュメントソリューション事業部マネージャー） 堺 登範 氏　（メデックス・ジャパン株式会社　代表取締役社長）
10月21日	**学術情報の歩みー学術雑誌の誕生からオープンアクセスまで** 有田 正規 氏　（大学共同利用機関法人　情報・システム研究機構　国立遺伝学研究所教授）

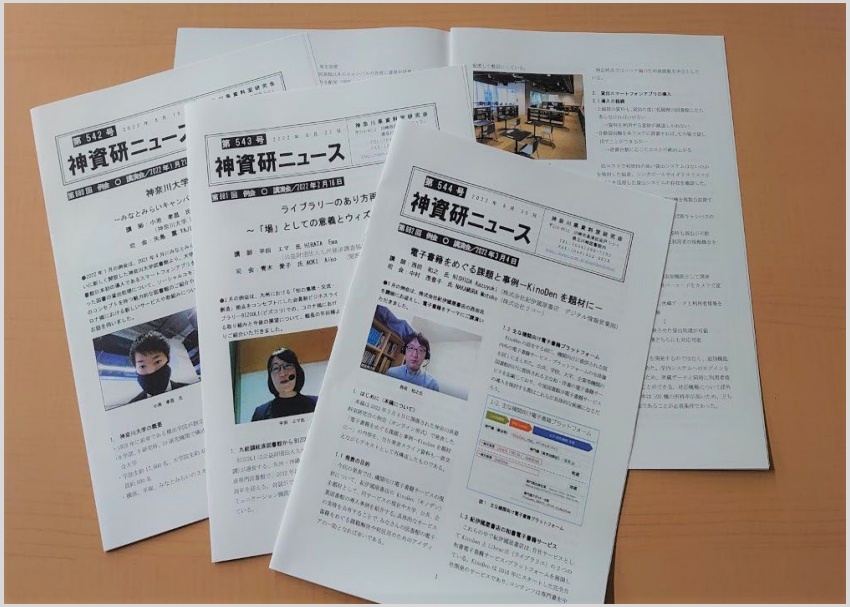
過去の例会の様子

2019年11月14日(木)開催
第669回例会：図書館総合展フォーラム
『コミュニケーションツールを知ろう
～これからはじめる人のために～』
講師：佐藤翔氏（同志社大学免許資格過程センター准教授）

2017年9月22日(金)開催
第646回例会：見学会
『東京都立多摩図書館』

刊行物について

会員に無料で配布される刊行物



神資研ニュース

例会記録、次回例会の案内、会員へのお知らせ、
情報関連の記事等を中心に編集されています。

年報「神資研」

前年度の活動内容の詳細な報告を掲載するほか、
関心の強いテーマを特集としてとりあげています。
年１回発行。

研究助成公募中

神奈川県立川崎図書館は工学・産業情報・自然科学分野の資料を中心に収集・提供している「ものづくり情報ライブラリー」です。

神奈川県資料室研究会では、県立川崎図書館に対する調査研究を促進することにより、県立川崎図書館の価値を高めるとともに、神資研会員機関の県立川崎図書館の効果的な活用を促進するため、研究助成対象の研究を募集いたします。
ふるって応募ください。

詳細は神資研HPをご覧ください。

神奈川県資料室研究会
https://ncsaas.cu-mo.jp/shinshiken/htdocs/

神奈川県立川崎図書館
https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/